

# 週間感染症情報

2017年36週～37週 2017年9月4日より2017年9月10日まで

|                 | 36週 | 37週 |
|-----------------|-----|-----|
| 麻疹              |     |     |
| 風疹              |     |     |
| 水痘(みずぼうそう)      | 4   |     |
| ムンプス(おたふくかぜ)    |     |     |
| 百日咳             |     |     |
| 溶連菌感染症          | 6   | 4   |
| 手足口病            | 35  | 27  |
| ヘルパンギーナ         | 1   | 1   |
| 伝染性紅斑           |     |     |
| 感染性胃腸炎          | 27  | 40  |
| ロタウイルス(再掲)      | 1   | 1   |
| 便アデノウイルス(再掲)    |     |     |
| 突発性発疹           | 3   |     |
| 伝染性膿痂疹(とびひ)     | 17  | 28  |
| ヘルペス性口内炎        |     |     |
| アデノウイルス感染症      | 1   | 1   |
| RSウイルス感染症       | 24  | 16  |
| マイコプラズマ感染症      |     |     |
| インフルエンザ(臨床診断含む) |     |     |
| インフルエンザA        |     |     |
| インフルエンザB        |     |     |
| A+B             |     |     |

36週～37週2週間分の報告です。感染症は少ないです。朝晩涼しくなり、鼻汁・咳など感冒の症例が増えてきました。花粉症、感冒り患を契機とした喘息発作が増えてきています。

感染性胃腸炎が増加しています。37週の報告で、病原性大腸菌3例、サルモネラ2例、カンピロバクター、2例と細菌性の報告が増えました。また例年10月末よりノロウイルスによると思われる嘔吐が主のウイルス性胃腸炎が増えてきます。

## 世界の麻疹の状況(2017ファクトシートより)

麻疹は安全かつ費用対効果の高いワクチンがあるにもかかわらず、小児での主な死因の1つです。

2015年には、世界で134,200人が麻疹で死亡、これは、毎日約367人、1時間に15人が死んでいることとなります。

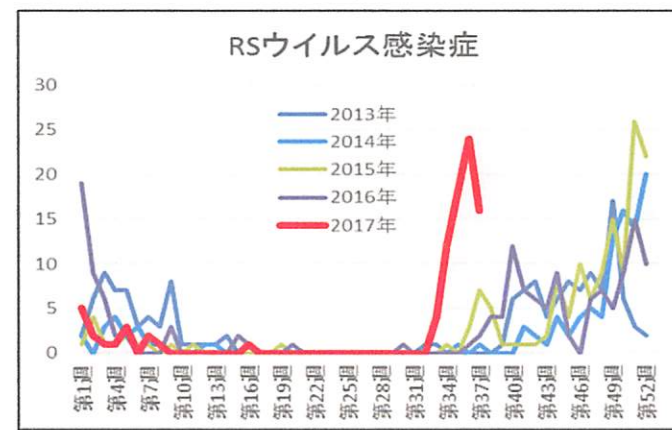
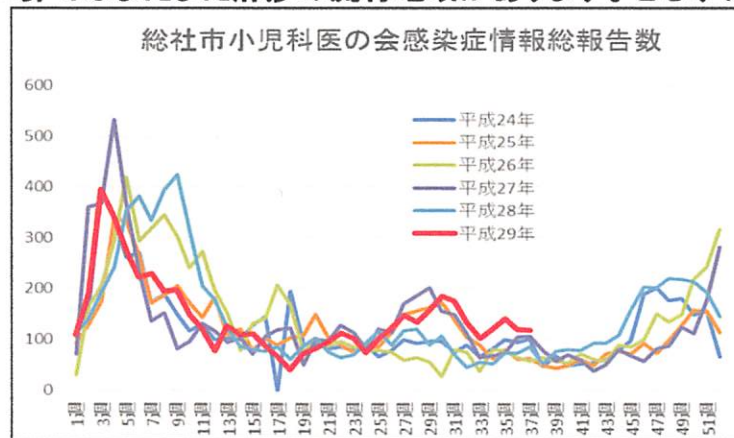
麻疹ワクチンによって、2000年から2015年までに、世界での麻疹による死亡者は79%減少しました。

2016年には、世界の小児の約85%が1歳の誕生日までに定期予防接種として1回目の麻疹ワクチン接種を受けました。

麻疹ワクチンの接種は、2000年から2015年までに、推定で2,030万人の死亡を防ぎました。

**日本では定期接種として、麻疹・風疹混合ワクチン(MRワクチン)を1歳児と就学前の5歳児の2回接種しています。**

**世界ではまだまだ麻疹の流行地域があります。ぜひ、ワクチンを接種して麻疹の流行を防ぎましょう。**



(感染情報については当院のホームページでもご覧になれます。 <http://miyaiinsoja.webmedipr.jp/>)